

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた 学校教育の在り方に関する特別部会について

令和4年1月14日
初等中等教育分科会決定

1. 設置の目的

- 「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」(令和3年1月中央教育審議会答申)を受けて、デジタル化などの社会変化が進む次世代の学校教育の在り方について検討する必要。
- 児童生徒への学習指導・生徒指導の在り方や環境整備について、特にGIGAスクール構想に基づくICT環境の整備と活用を進める中で、教科書・教材のデジタル化を推進するとともに、既存の教科書・教材との関係を整理し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実することが求められている。
- このため、多様かつ専門的な見地から横断的に議論し、検討内容を必要な施策に結び付けていくため、初等中等教育分科会に本会議を設置する。

2. 主な検討事項

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実するための、

- (1) 一人一台端末等を円滑に活用した児童生徒への学習指導・生徒指導等の在り方について
- (2) 教科書、教材、関連ソフトウェアの在り方について
- (3) 学校内外の環境整備の在り方について
- (4) その他

第11期中央教育審議会 初等中等教育分科会
「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた
学校教育の在り方に関する特別部会」委員

(50音順)

秋田 喜代美	学習院大学文学部教授
荒瀬 克己	独立行政法人教職員支援機構理事長
今村 久美	認定NPO 法人カタリバ代表理事
岩本 悠	一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム代表理事、 島根県教育魅力化特命官
金丸 恭文	フューチャー（株）代表取締役会長兼社長 グループCEO
貞廣 斎子	千葉大学教育学部教授
戸ヶ崎 勤	埼玉県戸田市教育委員会教育長
中川 一史	放送大学教養学部教授
奈須 正裕	上智大学総合人間科学部教授
平川 理恵	広島県教育委員会教育長
堀田 龍也	東北大学大学院情報科学研究科教授、 東京学芸大学大学院教育学研究科教授

(11名)